

策を練り、高齢化社会に対応しよう」とか「子どもたちに目を向けよう」「子どもたちに声をかけよう」あるいは「子どもたちと話し合える間柄を創ろう」といったことが確認されます。

総会での決定を受けて、毎月開かれる理事会が、一つ一つの内容を検討し、活動・行事（夏まつり盆踊り大会、いも煮会、餅つき大会）等が実施されます。夏まつり盆踊り大会には、1千名を超える人々が集い、大変な賑わいを見せますし、他の行事にしても、400名超の参加者があり、交流の輪が大きな拡がりとなり、共助といった面でも、非常によい形が現れております。ここから生まれて来た力の結集が、防犯、防火、違反広告の撤去等を兼ねたパトロール（週1回）、防災訓練、防災研修会や子どもたちを中心とした年末夜回り等が実施され、防犯・防災意識の向上に繋がってきております。

今、特に関心の高い、中越沖地震の際の避難所の運営に、町会が大きな役割を果たしたと、新聞に掲載されました。いざという時、力になれる町会を

目指します。

町会未加入の方、メリットは入会して、一緒に活動して、その後必ず生まれてきます。私たちと一緒にやってみましょうよ！

毎年にぎわう夏まつり



どんど焼きの行事を残す…

志茂第一町会 村野 和男

志茂第一町会の区域は、福生市のほぼ中央で新奥多摩街道と多摩川の間に位置しています。

昔から福生にお住まいの方は「志茂一」というより「中福生」ナカフサといった方がピンとくるかもしれません。

町会区域にある北田園地区は、かつて田んぼが広がっていて、

のどかな風景を感じるところでしたが、昭和40年代に区画整理事業が行われ、田園風景は一変し、住宅などが立ち並ぶようになりました。昔の面影はなくなりましたが、昔の面影はなくなりましたが、新たに多くのご家庭が町会に加入され、新しい中福生になつていきます。

さて、町会では年間を通じ、いくつかの行事を行っていますが、中でも正月に行われる「どんど焼き」は、町内の子どもからお年寄りまで多くの方が参加する行事として、二十数年前から行われています。

この行事は町内の「ふたけた会」という団体が中心となつて準備など行っているもので、このふたけた会というのは、昭和二桁生まれ（満25歳以上で昭和10年以降に生まれた人）で組織されており、発足から27年ほどたつていますが、現在町会活動の中心的な存在になつていきます。

このどんど焼きは、毎年暮れに竹や杉の葉などを集めてきて、多摩川の河原で組立作業が行われます。

骨組みは太い竹を使い、古材や茅を中に詰め込み、周囲は杉の葉を用いて高さ5メートルほどの円

錐形に仕上げます。

正月7日が過ぎるとしめ飾りや達磨などを町内の家庭から集めて飾り付けます。

毎年成人の日に点火され、多くの人々が集まり、赤々と燃え上がるどんど焼きの火にあたりながら、用意されたとん汁などを食べ、今年も健康でよい年であるようお願いながら、町内の親睦を深める行事として好評を得ています。

志茂第一町会には、ふたけた会のほかに福寿会・壮友会・J A女性部・子供会・神輿会・囃子連などの各種団体がありますが、特に町会の最大行事である夏祭りでは、

どんど焼き

